

都における食品の安全に関するリスクコミュニケーションの 充実に向けた考え方の検討資料

国のリスクミ

食品安全委員会での「安全性評価」の実施
評価結果に基づく各省庁での
「規格基準」の設定



・安全確保に係る国の枠組みについてのリスクミ

国のリスクミは総論

協力・補完

自治体のリスクミ

◇ 法を踏まえ、地域の課題やニーズに即した施策の決定・実施
(監視指導・技術的支援・調査研究など)



・地域における具体的な施策に関する
リスクミを実施

◆ 自治体は「現場の取組」と
一体となったリスクミを実践

都は、大消費地東京の食品安全確保に関し、
具体的な取組(各論)を取上げ、リスクミを推進

都が考えるリスクミの狙い

- 正確な情報と生活や事業に係わる「意義」について提供
都民、事業者の日常の「疑問」を解決する
- 施策へ関係者の意見反映
安全確保に向け、関係者が共に考え、役割に応じた具体的な対応策を進める
- 都の具体的な取組に対する理解の推進
施策の透明性・信頼性を高める
- 関係者の役割に応じた取組への参加促進
関係者の協力に基づき効果的に施策を推進する

都におけるリスクミの現状

- 食品の安全に関する情報提供
- 関係者のニーズの把握
- 関係者との意見・情報の交換
 - ・ネットフォーラムの常設
 - ・都民フォーラムの開催など



施策に対する理解の推進



関係者の協力に向けた
リスクミの充実が必要

東京の地域特性を踏まえた リスクミの課題

■ “役立つ情報”の必要性

全国最大の人口を抱える中で、関係者の
“疑問・要望”に合った情報提供

■ “率直な意見・情報交流”の必要性 (相互の弱点も明らかにする)

膨大な情報が集積する中で、正確な
リスク情報を率直に提供

■ “ともに考える”ことの必要性

生産・製造現場が見えにくい中で
リスク低減をともに考える